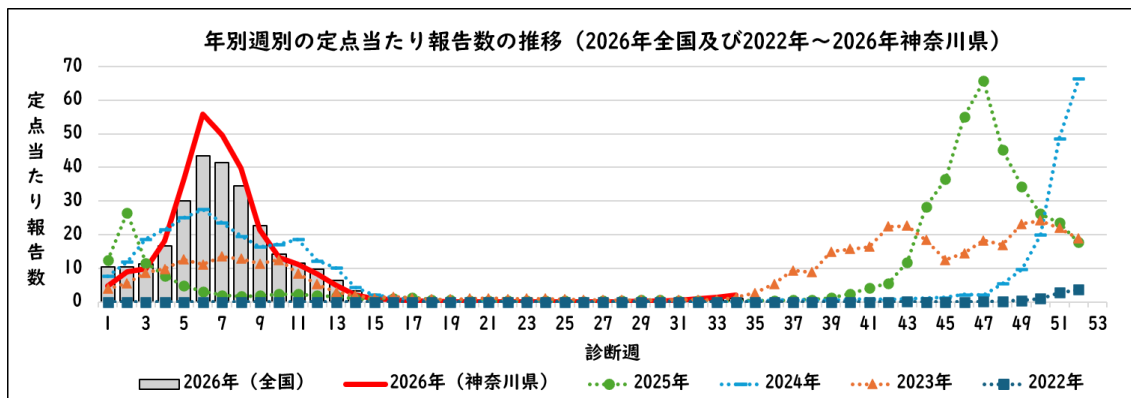


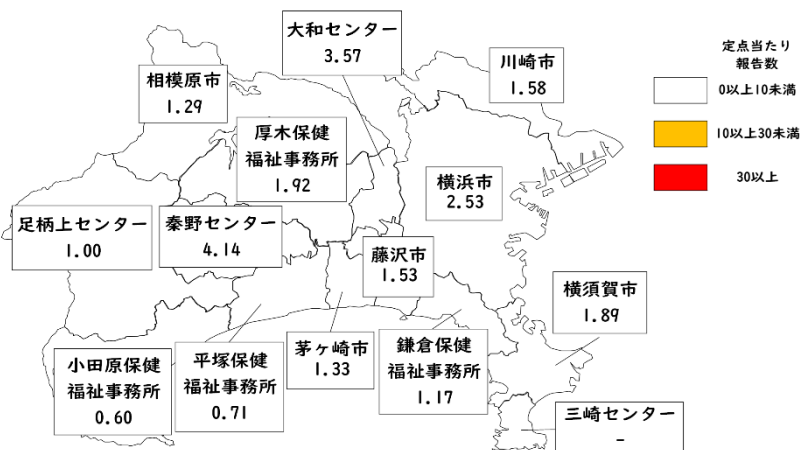
神奈川県 インフルエンザ情報（2）34 週

神奈川県では、第 33 週（2026 年 8 月 10 日～8 月 16 日）のインフルエンザの定点当たり報告数が 1.37 となり、流行の目安（定点当たり報告数 1.00）を超えました。ここでは、県内の流行状況などについてご紹介します。

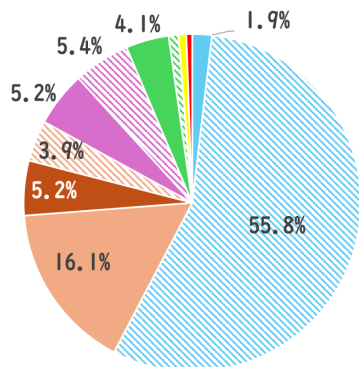


（1）県内の流行状況について（第 34 週（2026 年 8 月 17 日～8 月 23 日）時点）

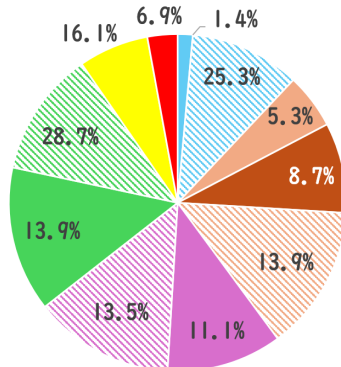
県内の流行状況について、地域別および年齢別に示します。



インフルエンザ患者（小児科定点）の
年齢構成
（神奈川県、2026年第33週～第34週）



インフルエンザ患者（内科定点）の
年齢構成
（神奈川県、2026年第33週～第34週）

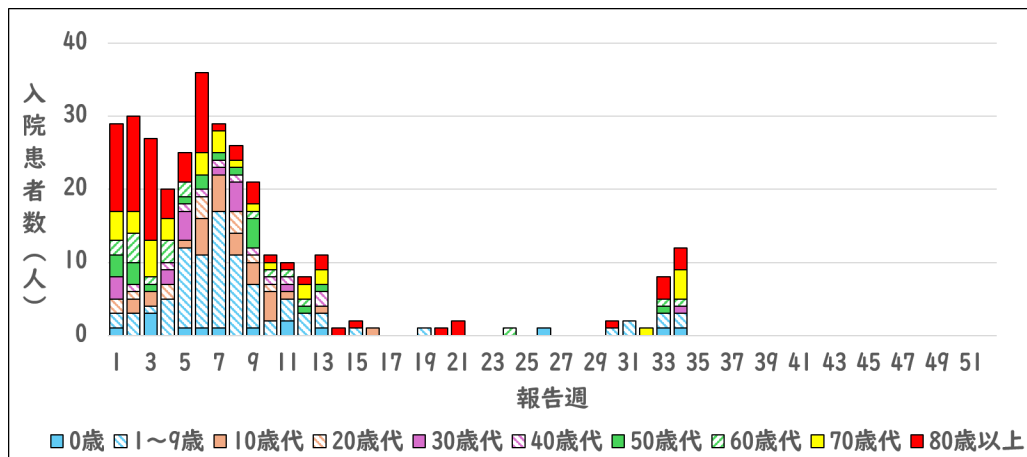


- 0歳
- 1～9歳
- 10～14歳
- 15～19歳
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳以上

(2) 入院患者数※について

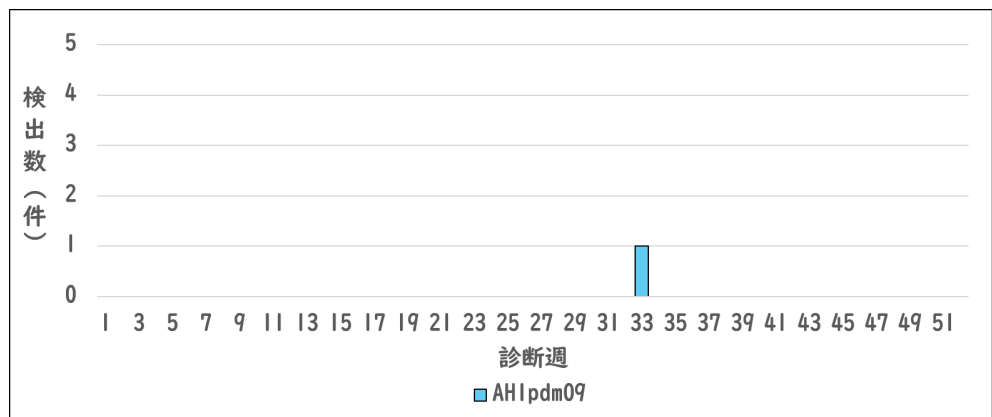
入院患者数は、第 34 週に 12 例の報告がありました。年齢の週別推移をグラフに示します。

※入院患者数は、県内 12 か所の定点医療機関から毎週報告されています。



(3) 病原体サーベイランスについて(2026 年 8 月 31 日時点)

神奈川県衛生研究所では、医療機関の皆様にご協力いただき、採集していただいた検体について病原体検査を実施し、現在流行している病原体の検出状況や特徴を監視（サーベイランス）しています。



急性呼吸器感染症 (ARI) サーベイランス ([ARI サーベイランスが始まりました！](#)をご覧ください) におけるインフルエンザウイルス検出状況をグラフに示します。

インフルエンザについて

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスが原因となる感染症のことです。発熱や頭痛、咳などが主な症状になります。稀に肺炎や脳症を伴うことがあります。

主な感染経路として、インフルエンザウイルスに感染した人の咳やくしゃみからの感染（飛まつ感染）や、ウイルスが付いた手で口や鼻、目に触れることによる感染（接触感染）があります。

予防接種は発症や重症化を予防するのに効果的です。また、手洗いの際は、せっけんやハンドソープを使いましょう。アルコール（消毒用エタノールなど）も併用するとより効果的です。

以下に参考リンクをご紹介します（2026 年 9 月 1 日アクセス）。

- ・ [厚生労働省：インフルエンザ（総合ページ）](#)
- ・ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ](#)
- ・ [国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト：インフルエンザ様疾患発生報告\(学校欠席者数\)](#)